

社協うえだ

No.85 令和2年(2020年)10月号



今号の表紙 / ステンドグラス講座にて

【写真】右から 金井さん親子(お母さんの朝美さん、娘さんの彩希さん)
山崎晃士さん(講師:ステンドグラスアーツプロデュース)

9月6日(日)に行われた上田市社協主催のステンドグラス講座。社協では地域福祉活動等に活用できる内容で様々な講座を開催しています。今回、仲間づくりやコミュニケーションを深めることを目的に、子どもも参加可能な物づくりを題材にして、開催されました。

参加者の一人である金井朝美さんは、自身の中学校以来だというはんだ付けに挑戦。その隣で、講師の指導を受けるお母さんを見守る彩希さん。ステンドグラスの作製を通して、親子共通の思い出のひとコマが刻まれました。

「シトラスリボン運動」推進




新型コロナウイルスをめぐる誹謗中傷や偏見をなくそうとする活動。「地域」「家庭」

「職場(または学校)」を象徴する3つの輪で、「ただいま」「おかえり」が言い合えるようにとの意味が込められています。

主な内容

- 災害救援ボランティアセンターについて P2~5
- 赤い羽根共同募金について P6~8
- お家でボランティア 作品紹介 P9
- 切手整理ボランティア P10
- 新型コロナウイルス感染症の影響により生活資金でお困りの方へ P12



発行 /  社会福祉法人 上田市社会福祉協議会

● TEL 0268-27-2025(代) ● FAX 0268-27-2500
● 上田市中央三丁目5番1号 ● <https://www.ueda-shakyo.or.jp>
印刷 / ㈱大和印刷



ボランティアの力を最大限に引き出す

災害救援ボランティアセンター

災害救援ボランティアセンターは、災害発生時に、ボランティアの力を被災者の生活支援につなぐ役割を担います。

昨年の令和元年東日本台風災害(台風19号災害)では、上田市社協でも災害救援ボランティアセンターを立ち上げ、多くのボランティアに協力をいただきました。



災害救援ボランティアセンター立ち上げ

災害救援ボランティアセンターの機能

(写真は訓練での様子)

支援を必要としている方の要望や、場所を確認します。(ニーズ受付)



住民からの要望を基に、ボランティアとして集まった方々に、活動内容や活動先を紹介します。(受付・マッチング)



活動先が決まったボランティアの方に、必要な資材を渡し、送り出します。活動終了後は報告を聞き取ります。



近年、多く発生している災害では、復興のためのボランティアの力は欠かせません。万が一災害に遭ってしまい、ボランティアの力を必要とした場合、また、被災地で困っている人のために活動したいと思った場合の方法、手順等ご紹介します。



災害救援ボランティアを
依頼したいと思ったら →



災害救援ボランティアとして
活動したいと思ったら →



新型コロナウイルスの状況下における災害救援ボランティアセンターの運営について、全国社会福祉協議会から運営上の留意点や、活動に当たってのガイドラインが示されました。また、ボランティア活動保険が令和2年5月1日に改定され、ボランティア活動中に新型コロナウイルスに罹患して治療を受けた場合は、補償の対象になりました。

今後、災害救援ボランティアセンター運営の際には、新型コロナウイルス感染拡大防止にも配慮し、運営をしていきます。

災害救援ボランティアを依頼したいと思ったら

台風や地震等、災害が発生した場合、上田市と連携し、災害救援ボランティアセンターが立ち上がります。災害の影響を受け、家の掃除や片づけ、生活の困りごと等でボランティアの力を必要としたら、以下の様な手順でボランティア活動につなげます。

① まずは… 災害救援ボランティアセンター(上田市社会福祉協議会)へ連絡をください。

② 次に… スタッフに依頼したい内容や場所等をお伝えください。

③ そして… スタッフがボランティアの調整や活動日時等の調整を行います。



昨年令和元年東日本台風災害では上田市内でもボランティアによるこのような活動が行われました。



床下、床上浸水により、家の周りや床下に流れ込んだ泥の撤去

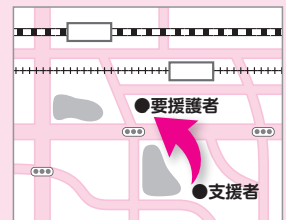


水に浸かった家財道具や災害ゴミ等の運び出し

やはり地域の力は大きい!

令和元年東日本台風の被災時には、近隣の方からの依頼でボランティア活動につながったり、自身の家の片づけを行いながら隣の家の作業を手伝ったりといった場面に多く出会いました。ボランティアの力だけでなく、近所での支え合い、助け合いは、とても大きな力を発揮します。

また、有事の際に支え合いの力を発揮するには普段からのつながりが大切です。この仕組みづくりに活用していただくことを目的に、社協では「住民支え合いマップ」づくりを行っています。現在作成している自治会につきましても、定期的な更新による確認が大切です。



災害時はもちろん、日常でも困ったことがあれば社協まで!

ボランティア地域活動センターでは、通常業務として、ボランティア活動を行いたいという方と、必要としている方とをつなぐ役割を担っています。また、社協は誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する団体として、日々事業を行っています。普段の生活の中で、お困りのことがありましたら、社協までご相談ください。

(社協各地区センター連絡先 P12参照/各ボランティア地域活動センター連絡先 P10参照)

活動したいと思ったら

ボランティアに参加する際の 装備例

ゴーグル

砂ぼこりから目を守る。
コンタクトレンズ
使用者は特に
あると良い。

帽子かヘルメット

日差しを防ぐ、落下物から
頭部を守る。

マスク

防じん、防臭、菌の侵入を
防ぐ。防じん仕様の立体型
がおすすめ。
※古い家屋では、アスベスト
含有建材が使用されてい
る場合があります。

タオル

汗ふき、汚れとり、頭部の保護にも使える。

水筒

水分補給用(夏場は最低2ℓ)。水な
らうがいや手洗いにも使えて便利

手袋

滑り止め、手の保護のため
厚手の物がおすすめ。

長靴か安全な靴

水害の時は長靴、地震の時は
作業用靴。いずれも釘の踏み
抜き防止のためのインソール
入りのものがおすすめ。

道具

作業に必要な道具
※1 道具は現地で貸し出している場合が
あるので、確認して荷物は極力減らせ
るようにしましょう。

長袖・長ズボン

ケガの防止、日焼け防
止のため、長袖長ズ
ボンがおすすめ。暑け
ればまくる等で対応

ウエストポーチ

貴重品や雨具、救急
セットなど、手元に置
いておきたいものを入
れる。

その他

常備薬、着替え、ウエットティ
ッシュ、メモ・筆記用具、身分証明
書、健康保険証、ボランティア活
動保険加入証、等々
夏場：熱中症予防に塩飴、日焼
け止め、虫よけ
冬場：防寒用の上着、カイロ



※宿泊を伴うボランティアに参加する場
合は、これら以外に、必要日数分の着
替えや食料、宿泊に必要なもの。

※1

上田市社協でも「赤い羽根共同募金」の
助成を受け、資機材の整備を行いました。
※赤い羽根共同募金に関してはP6～を
参照ください。

災害ボランティアとして



台風や地震等の災害時には、多くの被害が発生します。被害を受け、お困りの方のために、ボランティアとして活躍したい方は、ぜひお力をお貸しください。ここでは、災害ボランティアに参加する方法や準備、現地での流れをご紹介します。

まずは… 情報のキャッチ!!

現地の状況、ボランティアの受け入れ状況を知る

被災した市町村では、現地の状況に応じて、順次ボランティアの受け入れ体制を整えます。

募集地域の限定等、条件を設けてボランティアを募っている場合もあるので、注意が必要です。

現地の社会福祉協議会のホームページ等で確認しましょう!



情報キャッチは活動の要!

次に… 準備品チェック!!

装備品、移動手段、宿泊場所等の確保

活動内容、季節・天候に合わせた服装・装備品・資機材を準備しましょう。 ※右側装備例参照

移動手段として、個人での移動の他に、行政や社会福祉協議会等が実施するバスパックに参加し、現地に入る方法もあります。また、宿泊の場合は事前に宿泊先を自身で確保しましょう。

念入りの準備が良い活動を支える!



強い味方、活動の保険!

活動中の事故に備える「ボランティア活動保険」の加入をお願いします。 ※事前の加入で移動中も補償されます。(窓口は社会福祉協議会)

そして… 活動スタート!!

災害救援ボランティアセンターで活動

災害救援ボランティアセンターは、現地の社会福祉協議会が中心となり開設されており、被災者の要望（ニーズ）と個人ボランティアの調整（マッチング）を行い、活動につなげます。

現地での流れ 受付→説明→活動→報告

- ①受付 災害救援ボランティアセンターで受付
↓
- ②説明 スタッフから活動内容や場所、注意事項等についての説明
↓
- ③活動 活動場所へ移動し作業開始
↓
- ④報告 進捗状況、被災者の様子、気づいたこと等をスタッフへ報告



無理せず、自分に活躍を!

被災された方への心配りと自身の健康状態に気をつけ活動を行いましょう

☆ 災害救援ボランティアの登録を受付けています ☆

上田市社会福祉協議会では、上田市においてボランティア活動者の確保のために災害時にボランティアとしてご協力いただける方に、事前に登録をお願いしています。ご協力いただける方は登録をお願いします。 ※事前に登録していなくてもボランティア活動は行えます。

…… 登録は各ボランティア地域活動センターで受付けております (P10参照) ……



..... じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金にご協力お願いします

10月1日~

赤い羽根共同募金は、「お互いに助け合う福祉」を目的としており、新型コロナウイルス感染症状況下においても、地域や人との「つながりをたやさない社会づくり」のために活用されます。どうぞあたたかなご支援をお願い申し上げます。

今年の募金目標額

24,581,000円

赤い羽根共同募金は、市内の福祉活動を行う団体等からの助成申請にもとづき、配分計画を策定し、その計画額を「募金目標額」として募金運動を実施します。

地域配分として
(上田市内で使われます)
14,604,000円

募金の
使いみち

※今年度に皆さまから寄せられた募金は、令和3年度の事業に使われます。

広域配分として
9,977,000円

長野県全域を対象に、福祉活動のほか、防災物品の整備や災害義援金等に使われます。

災害時の支援活動

令和元年東日本台風災害時には、上田市内での災害支援のためのボランティア活動や、罹災見舞金としても活用されました。



地域での支え合い活動等 (4,021,000円)

自治会単位での世代間交流やお茶飲み会、サロン活動等(地域ふれあい事業)、住民支え合いマップの作成に活用されます。

学校での福祉教育 (1,975,000円)

小・中・高校生が体験学習を通じて福祉への理解を深める活動に活用されます。

障がい者を対象とした福祉活動 (502,000円)

在宅の重度障がいがある方と介護者を対象にした旅行(希望の旅事業)に活用されます。

高齢者を対象とした福祉活動 (1,221,000円)

紙おむつの贈呈、配食サービスなどの活動に活用されます。

申請のあった団体への助成 (3,909,000円)

上田市内の社会福祉施設や団体の活動に活用されます。

子育て支援の活動、各種相談事業、広報紙発行等 (2,976,000円)

子育て世代を対象とした講座の開催や、結婚相談、法律相談等の事業に活用されます。

上田地区	上田市子ども会育成連絡協議会	丸子地区	〇〇(まるまる)カフェやすらぎ	真田地区	さなだ支え合い会議
	上田市視覚障害者福祉協会		モチーフの会		真田地域長寿会
	NPO法人 上田市身体障害者福祉協会		E-キャップの会		真田地域ボランティア連絡協議会
	上田市赤十字奉仕団		NPO法人子育て応援団ばれっと		真田町身体障害者福祉協会
	上田市聴覚障害者協会		丸子身体障害者福祉協会		真田モチーフの会
	うえだ市民ふれあい広場実行委員会		上田市食生活改善推進協議会丸子ブロック		大福会
	上田地域福寿クラブ連合会		上田市丸子地区赤十字奉仕団		ふれあい広場実行委員会
	上田地区更生保護女性会		上田地区更生保護女性会丸子支部		NPO法人 ほこほコネクト
	上田地区保護司会		傾聴ボランティア・まるこ		ミミールの会
	上田千曲高等学校生活福祉科		丸子地域高齢者クラブ連合会		上田地区更生保護女性会武石支部
	上田ボランティア連絡協議会		丸子ボランティア連絡協議会		武石高齢者クラブ
	上田マジッククラブ		丸子モチーフの会		武石身体障害者福祉協会
	絵手紙サークルひまわり		上田市食生活改善推進協議会真田ブロック		武石地区社会福祉協議会
	上小手話サークル		上田市真田地区赤十字奉仕団		武石ボランティア連絡協議会
	真田地区		チャイルドラインうえだ運営委員会		上田地区更生保護女性会真田支部
点訳サークルでんでん虫の会		おとぎの会	全地区	上田市自治会連合会	
ふれあいサロンhinataboccoとよさと		おもちゃ図書館くるくるさなだ		上田市民生委員・児童委員協議会	
豊殿地区循環バス運営委員会		グリユックの会			

計53団体



基金運動は上田市全域で行い、市内の店舗や施設等に基金箱を設置し協力をお願いします。基金箱の設置予定箇所は以下のとおりです。

基金運動期間中 基金箱設置協力店など(予定)

上田地区	イオン上田店	満点とんかつ丸勝	かじかや手打ちラーメン
	上田商工会議所	味楽亭	カフェなかはら
	上田情報ビジネス専門学校	やおふく古里店	食い処 倅家
	上田女子短期大学	弥助寿し	グリーンフォーラムとびうお
	Aコープコアしおだ店	やまぎわ薬局	旬彩処 鳥羽
	Aコープファーマーズうえだ店	上田市観光会館	信州うえだ農業協同組合 武石支所
	カインズホーム上田店	上田市役所	武石温泉うつくしの湯
	元祖ニュータンタンメン本舗上田住吉店	上田市鹿教湯健康センタークアハウスかけゆ	武石観光センター
	元祖ニュータンタンメン本舗上田店	上田市国民宿舎鹿月荘	武石ともしび博物館
	ザ・ビッグ上田中央店	信州国際音楽村(ホール入口)	武石郵便局
	ザ・ビッグしおだ野店	セブンイレブン上田中丸子店	ノリ薬局たけし
	JA信州うえだ食彩館ゆとりの里	セブンイレブン上田下丸子店	バラエティショップパステル2
	四川や	セブンイレブン丸子長瀬店	ファミリーレストランあさひ
	信州大学繊維学部 生協	セブンイレブン丸子和子店	ほろほろ
	セブンイレブン上田中央北店	エキスパート珈琲真田店	ラーメンフロンティアCAMO-ME
	(医)友愛会 千曲荘病院	kimik	上田市社協 基金箱設置箇所
	鳶屋書店上田大屋店	駒屋商店	上田市ふれあい福祉センター(社協事務所)
	長野県工科短期大学校	真田やまぎわ薬局	上田市高齢者福祉センター
	長野大学	十福の湯	丸子ふれあいステーション (社協事務所・ボランティア地域活動センター)
	中村屋	新鮮市真田	丸子老人福祉センター
ニューアサヒ上田インター店	西友真田店	真田総合福祉センター(社協事務所)	
ふれあいサロンhinataboccoとよさと	ふれあいさなだ館	真田老人福祉センター	
平安堂上田しおだ野店	ゆきむら夢工房	武石デイサービスセンターやすらぎ(社協事務所)	
別所温泉あいそめの湯			

共同募金の使いみちについて、ご意見ご要望がありましたらお寄せください。「じぶんの町を良くするしくみ」を、市民の皆さまと一緒に考えてまいります。よろしくお願いたします。



募金の目安額について

チラシや戸別募金の封筒に記載されている「目安額」は、募金目標額に対して、世帯数などから算出した、目標額達成のための「目安」となる額です。

赤い羽根共同募金は、地域のさまざまな団体からの助成申請に基づき「募金目標額」が設定されます。

令和2年度共同募金 安心・安全なまちづくり活動公募配分事業のご案内

地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動の資金面での支援

対象団体：会則等を有する非営利の住民組織団体（自治会、町内会及び自主防災会等）

対象事業：防災・防犯に関する啓発活動、訓練・研修、講座等の開催、物品の整備

助成の対象となる活動の期間：令和3年4月～1年以内の間に行う事業

助成額：1団体20万円以内

申請方法：申請書を上田市共同募金委員会（上田市社協）に提出

※申請書は上田市社協各地区センターにある他、長野県共同募金会のホームページからも取得できます。

受付期間：令和2年10月1日（木）～11月30日（月）

問い合わせ：各地区共同募金委員会（上田市社協各地区センター ※P12参照）

70年の歴史 「赤い羽根共同募金」



戦後の混乱の中、始まった助け合い

日本の「赤い羽根共同募金」は、今から70年以上前の1947年に「国民助け合い運動」として始まりました。戦争が終わり、焼け野原で多くの方が苦しんでいる中で、最初は、戦争で家や家族を失った子ども達のために、寄付が役立てられました。誰もが苦しい生活でしたが、5億円を超える寄付が集まりました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当すると言われています。そして現代まで続く、この「助け合い」の精神は、コロナ禍にある今だからこそ、更に強く求められています。

身近な地域の福祉を応援

私達の住む町で、助けが必要な人達のために使われます。

地域の一人暮らしの高齢者が集まる場を作ったり、地域の障がい者が働ける施設を運営したり、子どもたちが安心安全に暮らす環境を整えたり、助けを必要としている人達のために活動するボランティア団体などに助成したりと、「赤い羽根共同募金」は、身近な地域の福祉活動を応援するために役立てられています。



シンボルキャラクター
愛ちゃんと希望くん

なぜ赤い羽根？

アメリカの原住民族は、いろいろな色の羽根飾りを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良い事をした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。

さまざまな形で

募金に参加

一人でも多くの方に、協力いただけるよう、募金にはいくつか種類があり、関わる機会を設けています。

- 戸別募金…世帯を対象
- 街頭募金…通行人等を対象
- 法人募金…企業を対象
- 職域募金…従業員を対象
- 学校募金…児童、生徒を対象

募金総額1兆円超

毎年、日本全国から多くの寄付が集まります。

今までに、最も多かったのは阪神・淡路大震災の発生した1995年の265億円でした。そして、現在までの総額は1兆円を超えました。

使い道は地域の代表者が決定

「赤い羽根共同募金」は、市区町村の区域ごとに「共同募金委員会」を置いており、集まった募金が公正に配分されるよう、地域の代表者が構成される審査委員会等が、配分計画、目標額について審議し決定しています。

赤い羽根共同募金昔話

共同募金のルーツは、はるか昔のスイスの山深い町から始まりました。

町には、その日に食べるものも無い人達がいて、教会の牧師さんは心を痛めていました。

ある日、牧師さんは道ばたに箱を置きました。その箱には、「あたえよ」とこれよ」と書かれていたのです。「食べものが足りていて、誰かに分け与えることができる人は、箱に食べものやお金を入れなさい。」

「今日、食べるものにも困っている人は、箱から食べものやお金をもらっていきなさい。」

この箱は、現在の募金活動にもつながる、次の3つのキーワードで成り立って

いました。

一つ目は、「匿名」です。決められた誰かを助けるのではなく、助けを必要とする皆のために与えたのです。与える人も、自分が誰なのかをあきらかにしなくてもかまいません。

二つ目は、「任意」です。与える人も、取る人も、参加するのは自由です。

そして三つ目は、「信頼」。道ばたに箱があれば、泥棒に取られたり、うそをついて持っていったりしてしまう人もいたかもしれませう。けれど、町の人達がこの箱の意味を分かち、本当に必要な人のためのものなのだ、お互いに信頼し合っていたからこそ、成り立った仕組みでした。

広報6月掲載記事

おうちで ボランティア

作品をありがとうございました

作品募集継続中



広報6月号掲載の「今できるボランティア『おうちでボランティア』」で募集した作品を介護施設のご利用者の皆さまにお届けしました。

受け取った方を素敵な笑顔にしてくれる作品が、今までに「色紙4枚・折り紙1枚・絵手紙20枚・メッセージカード28枚」届きました。ありがとうございました。

引き続き皆さまの作品をお待ちしています!!

ありがとう!!
家で飾ります。



大変な時期ですが、
お体に気を付けて
元気にお過ごし下さい。

コロナウイルスでたいへんですが、
一緒に頑張りましょう!!

声を紹介… 受け取った方から

- ★大きな色紙の絵、ありがとうございました。部屋に飾り、毎日眺めています。部屋が明るくなった感じですよ。
- ★「体調崩さずに気を付けてくださいね」と書かれてあり、私に言っているようでうれしくなりました。

声を紹介… 送った方から

- ★私自身もコロナウイルスの影響で気分が沈んでいたのに、心が温かくなるようなカードを作製して少しでも温かい気持ちになってほしいと思った。
- ★今年はコロナウイルスの影響で福祉施設へのボランティアができないので、このような形で協力できたらと思いました。



お家で
できます!

切手整理ボランティア

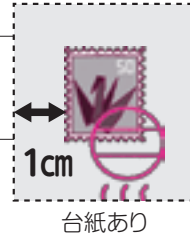
ボランティア地域活動センターでは皆さんから寄付して頂いた使用済み切手を、ボランティアさんに整理分類していただき、収集体体へ送っています。

コロナ禍の今、お家でもできるボランティアです。



1 お近くのボランティア地域活動センターまで切手を取りにいらしてください。

2 **切り方** 切手の周りを1cm残して切ってください。
(台紙ありの場合)

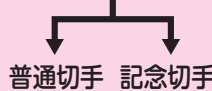


3 分類の仕方

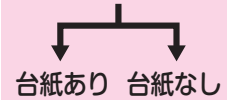
- 分類①:日本の切手と外国の切手に分けます。
(日本の切手は日本郵便と記載されています。)
- 分類②:それぞれ台紙ありのものとなしのものに分けます。
- 分類③:台紙のある日本切手を、更に普通切手と記念切手に分けます。(見分け方は見本の資料をお渡ししますので、ご確認をお願いします。)



【日本の切手】



【外国の切手】



4 分類した切手をお近くのボランティア地域活動センターまでお持ちください。

お気軽に
お問い合わせ
ください

**切手整理は定期的に
以下の会場でも行っています!**

(変更になる場合があるので、お問い合わせください。)

★上田市ふれあい福祉センター
毎月1日、15日

★丸子ボランティア地域活動センター
毎月第3水曜日

ボランティア地域活動センターでは、下記の3団体に送付しています。

各団体では収集家への販売や、しおりなどに加工してバザーで販売等した収益が、活動資金の一部となります。

- 日本キリスト教海外医療協力会
海外への医療従事者派遣活動等
- ジョイセフ
開発途上国の女性や妊産婦の健康と命を守る活動
- 誕生日ありがとう運動本部
知力ハンディキャップ問題啓発運動

例えば...

使用済み切手約14,000枚で
ザンビア共和国(アフリカ南部)において
1人の女性が、助産師立ち合いのもと
施設で安全な出産が
できます。



使用済み切手の寄付もお待ちしています♪

ボランティア
地域活動センター
問い合わせ

- 上田 / 〒386-0012 上田市中央3-5-1 TEL 25-2629 FAX 27-2500
- 丸子 / 〒386-0404 上田市上丸子1600-1 TEL 43-2566 FAX (TEL兼用)
- 真田 / 〒386-2201 上田市真田町長7190 TEL 72-2998 FAX 71-5740
- 武石 / 〒386-0503 上田市下武石771-1 TEL 85-2466 FAX 85-2471

善意銀行

(令和2年7月1日～8月31日)

- 第十二教区曹洞宗青年会様 80,000円
- 第一生命保険(株) 長野支社 上田第二営業オフィス様
..... 車いす1台、タオル130枚
- 匿名様 ... マスク150枚、消毒用ウェットティッシュ6箱、
ハンドソープ3本、フェイスシールド2個
- 小泉自治会様 マスク317枚
- 柳沢久美子様 手作りマスク31枚
- 美し信州建設(株)様 ジャがいも100kg
(指定寄付/おけまる食堂様、みんなの居場所しおじり こどもカフェ様、
ふれあいサロンhinata bocco 子ども食堂様、みんなのおしお食堂様)
- 音楽ボランティア様 福祉体験用資料
- 第一生命保険(株) 長野支社 上田営業オフィス様
..... ディズニーズグッズ100点
(指定寄付/社会福祉法人原峠保育園 児童養護施設 森の家はらとうげ様)
- 匿名様 アクリルたわし50個
- 待井隆様 10,000円、血圧計1台
- 山田由美子様 20,000円

～あたたかな善意ありがとうございます～

指定寄付以外の寄付につきましては社協、または福祉施設等で活用します。

- (株)バリューブックス様 書籍60冊
(指定寄付/神川児童センターへ)
- からだ元気治療院上田店様
..... 飲料12本、菓子10個、食料品1個
- 新田長生会サロンこすもす様 未使用年賀はがき8枚
- 匿名様 手作りマスク110枚
- 匿名様 30,634,110円
- chi-ku竹庵一同様 手作りマスク100枚
- 上田西高等学校 JRC部様 マスク240枚
- ビューティーサロンさつき様
..... 11,161円、未使用・書き損じ・年賀はがき184枚、
未使用切手6,928円分
- 幸福の科学 上田支部様
..... 日用雑貨2点、未使用・書き損じはがき134枚、
未使用切手465円分、使用済み切手、
未使用・使用済みテレホンカード11枚、タオル4枚
- (有)伸和印刷様 端紙

上田市社会福祉協議会
子ども服リユース事業



子ども服募集

ふく(服)とふく(福)とをつなげる、子ども服の無料リユース事業「ふくふくひろば」。
常時開設していますので、どなたでもお気軽にお出かけください。

子ども服を提供して下さる方に…

「ふくふくひろば」に提供していただける子ども服がありましたら、社協窓口までお寄せください。

- ◆ 新生児用～140cmまでの子ども服(皆さまの要望を受け、140cmまで広げます。)(洗濯済みでシミ、汚れ、毛玉等が無く、他の人に気持ち良く着ていただけるもの)
- ◆ 肌着等、直接肌に触れるものは新品未使用品のみ
- ◆ サイズごとに分けていただくをお願いします。
- ◆ 1回の持ち込みは20点までとさせていただきます。

子ども服が欲しい方に…

「ふくふくひろば」に設置してある子ども服は社協の窓口で受付け後、1回につき10点までご自由にお持ちいただけます。

- ※ お持ち帰りにマイバック等ご持参ください。
- ◆ 開設時間/月～金曜日の9時～17時
(土、日、祝日はお休みです)
- ◆ 場所/上田市ふれあい福祉センター 2階
(上田市中心3-5-1)

問い合わせ/上田市社会福祉協議会 総務課 TEL 27-2025



親子deベビーダンス

お子さんを抱っこしながら体を動かすエクササイズです。

- 日 時/11月26日(木) 10時～11時30分
- 場 所/丸子ふれあいステーション 3階
- 講 師/山本 美枝さん(うえだミックススポーツクラブ
ベビーダンス協会インストラクター)
- 定 員/10組(首がすわった頃から1歳くらいの
赤ちゃんと保護者)

この事業は赤い羽根共同募金の
助成金を受け行っています。



参加費
無料

- 持ち物/抱っこひも(スリング以外)、タオル、
親子の飲み物、マスク
- 申込締切/11月20日(金)

※定員になり次第締め切ります。
☆新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
する場合がありますのでご了承ください。

申し込み・問い合わせ/丸子地区センター TEL 42-0033

お話しお聴きします 社協傾聴電話 ☎ 27-8080

誰にも言えず抱えていませんか? お気軽にお電話ください

人に話を聞いてもらうことで心が軽くなり、元気や勇気が湧いてきます。
あなたの気持ちに寄り添ってお話をお聴きします。

- 利用時間/月曜日～金曜日の9時～16時
(土、日、祝日はお休みです)
- 対象者/市内在住70歳以上の
一人暮らしの方

新型コロナウイルス感染症の影響により生活資金でお悩みの方へ

…… まずは、お電話にてご相談ください ……

	生活資金の貸付 問い合わせ／上田市社協各地区センター（下段連絡先参照）		
	緊急小口資金	総合支援資金	たすけあい資金
対象及び内容	休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための資金を必要とする世帯への資金の貸付	収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯への資金の貸付	上田市社会福祉協議会独自の貸付。要保護世帯またはこれに準ずる世帯への資金の貸付
限度額	原則 10 万円以内 ※一定の要件に該当する場合は、20 万円以内	(1) 2 人以上：月 20 万円以内 (2) 単身：月 15 万円以内 貸付期間／3 か月以内	5 万円以内
据置期間	1 年以内	1 年以内	1 年以内
償還期限	据置期間経過後 2 年以内	据置期間経過後 10 年以内	据置期間経過後 2 年以内
利子・保証人	無利子・不要	無利子・不要	無利子・不要
その他条件等		※原則、自立相談支援機関(まいさぼ)による継続的な支援を受けることが要件となります。	

住居確保給付金 問い合わせ／まいさぼ上田 TEL71-5552	
対象及び内容	離職等により経済的に困窮し、住居を喪失している方または喪失する恐れのある方に対して、住居費の支給と、住居及び就労機会の確保に向けた支援 ※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、現在一部条件を変更
支給額	単身世帯：35,000 円、2 人世帯：42,000 円、3 人～5 人世帯：46,000 円を上限として、収入に応じて調整された額 ※支給額は定められた基準額や世帯収入等から算出して決定します。収入状況や現在お住いの家賃額によっては一部自己負担が発生する場合があります。
支給期間	原則 3 か月（一定の条件により延長できる場合があります。）

社協の無料相談 〈10月・11月〉

※相談日は、都合により変更になる場合がありますので事前にお問い合わせください

内 容	日 時	場 所
心配ごと相談	毎週月曜日～金曜日 9時～16時	上田市ふれあい福祉センター TEL 27-8080 丸子ふれあいステーション TEL 42-0033 真田総合福祉センター TEL 72-2998 武石地区センター TEL 85-2466
結 婚 相 談 ※12時～13時は 相談員の休憩時間と させていただきます。	毎週水曜日 10時～15時 毎月第2土曜日 ※受付 14時30分まで 毎月第4土曜日 10時～15時 ※受付 14時30分まで	上田市ふれあい福祉センター TEL 22-3082 ※相談日以外の問い合わせは TEL 27-2025 丸子ふれあいステーション TEL 42-0033
法 律 相 談 ※要予約	毎月第3土曜日 10時～12時 10月19日(月) 13時30分～15時30分	上田市ふれあい福祉センター TEL 27-8080 丸子ふれあいステーション TEL 42-0033

ご意見をお寄せください。

「社協うえだ」へのご意見、ご感想、また、福祉事業に関するご要望などお寄せください。
宛先は、各地区センターまたは総務・企画係広報担当（上田地区センターと同じ）まで。

- 上田地区センター 〒386-0012 上田市中央3-5-1(上田市ふれあい福祉センター内) TEL 27-2025 FAX 27-2500
- 丸子地区センター 〒386-0404 上田市上丸子1600-1(丸子ふれあいステーション内) TEL 42-0033 FAX 42-0034
- 真田地区センター 〒386-2201 上田市真田町長7190(真田総合福祉センター内) TEL 72-2998 FAX 71-5740
- 武石地区センター 〒386-0503 上田市下武石771-1(武石デイサービスセンター「やすらぎ」内) TEL 85-2466 FAX 85-2471

業務時間／8時30分～17時15分